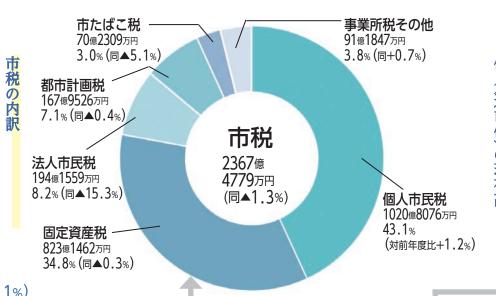
令和2年度

# 決算報告

令和2年度の決算が10月の議会で認められました。皆さんの生活に関わりの 深い事業を行う一般会計を中心に、主な取り組みなどを紹介します。 **固財政課(☎504-2075、☎504-2099)** 

# 一般会計

福祉や教育、消防など市が行う行政運営の基本的 な経費を経理する会計です。 (特別会計・企業会計を除く全ての歳入・歳出)



1兆1239億 1兆1008億 9049万円 5031万円 6527億 臨時財政対策債 7523万円 288万円 等控除後残高

市債の残高は、臨時財政対策債(国が地方交付税の不足を補うため 市に発行させる市債)の発行などにより、約1兆1240億円となりました。 臨時財政対策債などを除く残高は、対前年度で、約29億円増加してい ます。しかし、新型コロナウイルス感染症に伴う徴収猶予の影響によって 減収した市税などの財源手当として発行した猶予特例債(約32億円)を 除けば、前年度を下回る残高となっています。

## 7860億6239万円(対前年度比+20.1%)

#### 国庫支出金

34.9% 2741億4464万円 (対前年度比 +106.3%)

市税 30.1% 2367億4779万円 (同▲1.3%)

借入金(市債) 10.3% 810億8255万円 (同+2.2%)

道路・市街地の

整備、交通など

12.6%

982億601万円

(同+4.3%)

地方交付税 5.9% 465億7460万円 (同+0.9%)

令和元年度末

貸付金の 元利収入 など 14.2% 4.6% 358億1255万円 (同▲3.6%)

その他 1117億26万円 (同▲6.5%)

令和2年度末

その他2.8%、219億1007万円(同+11.5%)-議会の運営0.2%、15億4968万円(同▲2.4%)-災害復旧0.7%、57億3820万円(同▲24.5%)-

借入金(市債)

の返済など

639億8154万円

(同▲21.7%)

8.2%

消防活動 など2.1%、163億9520万円(同▲3.2%)-地域経済の振興、観光 など3.2%、253億7621万円(同+19.0%)

保健・医療や

環境対策 など

698億1142万円

(同+6.8%)

原爆被爆者対策、健康管

理、環境保全対策、ごみ処

理、PCR検査

8.9%

# 7809億8068万円(対前年度比+20.0%)

#### 福祉サービスの提供 ぉど

27.0% 2108億322万円 (対前年度比+2.9%)

主な取り組み

高齢者・障害者(児)・児童・ひ とり親家庭・低所得者など の福祉、地域福祉の推進



民間保育園などの整備補助

コミュニティ・スポーツ・文 化などの振興、世界平和の推 進、特別定額給付金の支給



市民参加や

1676億4447万円

(同+276.5%)

21.5%

平和の推進 など

日本政府などへの核兵器禁 止条約に関する要請訪問



学校施設などの整備、学校

教育などの振興、青少年の

学校の情報教育環境整備



※これまでの税率の引き上げに伴う地方消費税交付金の増収分(137億2737万

円)は、生活保護費などの扶助費に介護保険事業などの特別会計への繰出金な

どを加えた社会保障費(一般財源778億4658万円)へ充当しています



道路・橋りょう・河川・港湾・

公園・緑地などの整備、住宅

教育の充実

995億6466万円

(同+6.9%)

対策、都市計画

12.8%

サッカースタジアム建設 の推進



がん検診と特定健康診査の同時実 施によるがん検診の受診率向上



検査体制の拡充



PCR検査機器の増設など



農林水産業・商業・

観光などの振興、

雇用の推進

平和記念公園レストハウス のリニューアルオープン

# 特別会計

保険料など特定の収入を財源に特定の事業を行 い、一般会計とは別に経理する会計です。 市には国民健康保険や介護保険など19の特別会計 があります。

(対前年度比+0.6%) 4176億9606万円 (同<math>+0.3%)

**収入** 4219億3871万円

収入 支出 特別会計 853万円 304万円 住宅資金貸付 10億 130万円 2億8183万円 母子父子寡婦福祉資金貸付 物品調達 5345万円 4588万円 公債管理 1536億8230万円 1536億8230万円 広島市民球場 13億 279万円 13億 279万円 用地先行取得 4億4422万円 4億4422万円 西風新都 12億1023万円 12億1023万円 後期高齢者医療事業 155億9217万円 155億 567万円 介護保険事業 978億 623万円 970億6265万円 国民健康保険事業 1073億9686万円 1062億9788万円

収入	支出
211億5078万円	196億7003万円
29億3847万円	28億8318万円
9012万円	9012万円
6億9951万円	6億9951万円
12億4576万円	12億4576万円
172億6497万円	172億6497万円
3325万円	548万円
655万円	31万円
1122万円	21万円
	211億5078万円 29億3847万円 9012万円 6億9951万円 12億4576万円 172億6497万円 3325万円

# 企業会計

サービスの提供に対して皆さんが支払う料金など を収入として事業を行う会計です。水道・下水道・安 芸市民病院の3つの企業会計があります。







#### 水道事業会計

227億8837万円 (対前年度比▲6.3%)

224億9857万円 (同▲0.8%)

2億8980万円の利益がありました。 給水収益の減などにより収入が減 少したことなどから、前年度に比べ て利益が13億5225万円減少しまし

## 下水道事業会計

**収入** 428億4811万円 (対前年度比▲2.6%)

**支出 416**億**4951**万円 (同▲2.3%)

11億9860万円の利益がありました。 下水道使用料の減などにより収入 が減少したことなどから、前年度に 比べて利益が1億7533万円減少しま した。

# 安芸市民病院事業会計

**収入** 20億6572万円 (対前年度比▲2.3%)

**支出 20**億6357万円 (同▲2.5%)

215万円の利益がありました 外来収益などの収入が減少しま したが、指定管理者への診療報酬 交付金の減などにより支出も減 少したことから、前年度に比べて 収支が453万円改善しました。

### 令和2年度の収入-支出 **50**億**8171**万円

収入から支出を差し引いた50億8171万円から、令和3年度に繰り 越して行う事業に充てる32億1774万円を差し引いた18億6397万円 が、実質的な黒字となりました。

# 市民1人当たりにすると年間約65万4862円支出

国庫支出金 市税 19万8516円 借入金(市債) 6万7989円 地方交付税 3万9053円 貸付金の元利収入 など 3万 29円 その他 9万3662円 合 計

収 入

一般会計の決算額を、市の 人口119万2589人(令和3年3月 末)で割って計算しました。1円 未満は端数処理をしています。

支 出

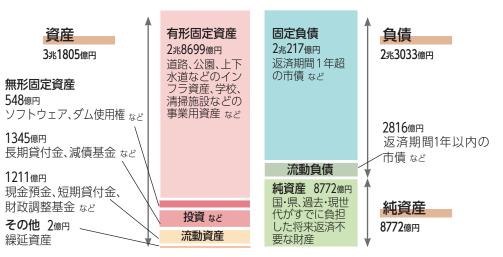
#### 項目 22万9874円 福祉サービスの提供 など 17万6761円 市民参加や平和の推進など 14万 572円 8万3486円 教育の充実 道路・市街地の整備、交通 など 8万2347円 保健・医療や環境対策など 5万8538円 借入金 (市債)の返済 など 5万3649円 65万9123円 地域経済の振興、観光 など 2万1278円 1万3748円 消防活動 など 災害復旧 4812⊞ 1299円 議会の運営 1万8372円 その他 65万4862円 合 計

# 性質別に見た広島市の支出

市の支出で最も多いのは、市民1人当たり一律10万円を支給した特別定額給付 金や臨時休業に伴う事業者への助成金などの「補助費など」です。 その他10.1% 公債費8.1% 中小企業回げ貸付金 など 市債の返済 など 784億1679万円 637億6472万円 (同+1.3%) (同▲21.7%) 補助費 など25.1% その他 投資的経費10.9% 個人・各種団体への補助金 など 経費 道路や学校建設 など 1959億3076万円 853億4280万円 (対前年度比+216.4%) 支出 投資的 (同+8.6%) 経費 7809億 消費的 維持補修費1.2% 8068万円 経費 施設の維持補修 など 91億 819万円 扶助費18.1% (同+10.8%) 生活保護費ほか各種手当 など 物件費8.4% 1414億 969万円 施設の運営や業務委託費 など 人件費18.1% (同▲0.3%) 659億2628万円 職員の給与 など (同▲0.9%) 1410億8145万円(同+4.6%)

## 広島市のバランスシート(連結※)

バランスシート(貸借対照表)は、これまで造ってきた道路や建物などの財産(資産)と、その財 源(負債など)の状況を示すものです。資産から負債の合計を差し引いたものが純資産です。 2年度末では、市民1人当たりにすると資産約267万円、負債約193万円、純資産約74万円です。 (連結※ 一般会計・特別会計・企業会計のほか、市が出資している第三セクターなどを加えたものです)



## 公共施設(ハコモノ資産)の収支状況と税負担

文化・スポーツ・福祉などのサービスを提供する施設(ハコモノ資産)の管理運 営費の多くは市税で賄われています。今回は運動公園などの施設について収支 状況と税負担額を紹介します。

公共施設	Α	В	C(A-B)	D
	支出 (管理運営費)	収入 (使用料 など)	税負担額	利用者1人当た りの税負担額
瀬野川公園	6647万円	1326万円	5321万円	1046⊨
可部運動公園	2895万円	345万円	2550万円	936円
佐伯運動公園	3895万円	648万円	3247万円	709⊟
新牛田公園、牛田総合公園	3795万円	58万円	3737万円	639円
寺迫公園	1546万円	424万円	1122万円	437円
竜王公園	3291万円	667万円	2624万円	<b>411</b> ⊞
草津公園	577万円	94万円	483万円	313⊟
西部埋立第五公園	4058万円	2212万円	1846万円	149円

管理運営費(A)には、建物の新築費用や大規模改修の費用とそれらに伴う市債の償還 費用は含まれていません。利用者1人当たりの税負担額(D)は、税負担額(C)を延べ利用 者数で割って計算しました。1円未満は端数処理をしています。

市HPページ番号 15535 問行政経営課(☎504-2346、☎504-2372)